

表 5. 海面生簀におけるマダイの飼育結果

試験区	収容尾数	飼育日数	取り上げ尾数	平均全長	歩留り
	尾	日	尾	mm	%
A	703	15	520	40.0	73.9
B	1,243	13	550	30.0	44.2

今年度も1回当りの産卵量が少なく、小規模で試験を実施した。低密度飼育のせいか陸上水槽における成長が早く、20mmサイズに達するのが日令30前後で、その間の水温は21～27℃の範囲であった。

海面生簀における飼育では前年度と比較して沖出しサイズを大きくしたことと、短期飼育であったことが歩留りの点で良い結果となっている。

II 新魚種開発試験

1. マダラハタ(*Epinephelus microdon*)

1) 材料と方法

親魚と採卵

親魚は前年度から継続飼育された11尾と新たに1kgサイズ1尾を追加し合計12尾を使用した。親魚測定結果を表6に示す。使用水槽、飼育管理、給餌、採卵、卵計数及びホルモン注射方法は前年度と同様である。卵径及び油球径は万能投影器で拡大し、ノギスで大きさを測定したあと、倍率で除して28～40粒の平均値を計算し、月別における卵径の大きさを算出した。

表 6. マダラハタ親魚測定結果

No.	体 重	全 長	体 高
	g	cm	cm
1	2,850	50.5	14.5
2	5,050	55.5	17.8
3	4,050	52.5	17.8
4	1,550	41.5	12.4
5	5,050	56.0	18.6
6	4,500	54.5	17.5
7	5,100	56.5	19.0
8	4,600	54.5	18.0
9	5,100	55.0	19.5
10	4,600	58.0	17.2
11	3,400	49.0	16.5
12	3,800	53.0	16.5
合 計	49,650	636.5	205.3
平 均	4,137.5	53.0	17.1

*1983年3月22日測定

種苗生産

屋外60t水槽、室内1.5t、1t、0.5tパンライト水槽へ浮遊卵を直接収容し、ふ化完了後に死